



THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



茨城ワイズメンズクラブ
2017年度~2018年度
10月報 Vor. 110
強調月間テーマ

国際会長主題 : とともに、光の中を歩もう
アジア地域会長主題: ワイズ運動を尊重しよう
東日本区理事主題 : 広げよう ワイズの仲間
関東東部部長主題 : 義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう
茨城ワイズ会長主題: 「ワイズはYMCAの「お兄ちゃん」へ！」

EMC-E・YES

10月例会プログラム

と き : 2017年10月13日(金)
19:00~21:00
ところ : YMCA 会館新館 3階

司会 土谷 明男
開会挨拶と点鐘 会長 土谷 明男
ワイズソング
ワイズ信条

- 1 自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1 青少年のために YMCAに尽くそう
- 1 世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1 義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとうろう
- 1 会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝

卓話 ゲストスピーカー
わかリーダー(茨城YMCA)
「ユースコンボケーション報告」

ハッピーバースデー&おめでとう結婚記念日

スマイル ドライバー柳瀬 久美子

茨城YMCA報告 和田 賢一

報告と協議

閉会挨拶と点鐘 会長 土谷 明男

今月の聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。

これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケ人への手紙第一 5章16章~18章

ポジティブY

井上 恒久

9月の例会で大澤“アットン”氏から日本YMCAの新たなブランドロゴ:愛称「ポジティブY」を紹介する小本をいただいた。東京への通勤帰りに、まぶたが重くなりながら読むと、丁度まんなかあたりのページに新しいロゴマークが現れた。

見慣れたYMCAの文字の右側にある、ひときわ大きな赤いYのマークが目目をひく。ワイズの例会で黒板にはあってあったこのマークを遠くから見たときには、バドミントンの会社を連想したが、この本の説明を読むと「鳥が飛び立とうとする瞬間をモチーフにしたシンボル」とある。さらに、“一人ひとりの生命の息吹、未来に向かう前向きな力、平和への想いを表現しています”とある。なるほど、そういう意味があったのか。美的感覚に乏しいことを棚にあげて、バドミントンの会社のマークを連想した自分のことを申し訳なく思う。

さらにページをくって読み進むと、YMCAは明確な目標として“ポジティブネット:互いを認め合うネットワークの実現”を掲げます、とあった。実にはっきりした、気持ち良い主張だ。

思えば私たちの世代は、“戦後の復興に役立つ人材育成”を目標に小学校から教育されてきた。それが、いつのまにか、世の中は“〇〇ファースト”や“勝ち組、負け組”の基準でものをみることが支配的になってしまった。

あくせくして働いて、お互いに住みにくい世の中をつくるよりも、共生を目標に助けあっていくほうがずっといい。今回のYMCAの宣言はタイムリーであり、目標を見失いかけたワイズのおじさんたちは、赤いYのロゴマークに勇気を与えられる。

9月例会報告

出席者 会員 9名 メネット 0名
スタッフ 1名 リーダー 0名
ゲスト 2名 出席総数 12名
在籍者会員数 14名 会員出席率 64%

【片山ワイズが昨年度のエルマー・クロウ賞(最優秀部長賞)を受賞!!!】

既にみなさまご存知のことかと思われそうですが、昨年度の関東東部部長を務められた当クラブの片山ワイズが、エルマー・クロウ賞を受賞されました。エルマー・クロウ賞とは任期年度中に特に傑出した働きをした部長に与えられる国際賞であり、任期半ばで倒れた、カナダの元理事エルマー・クロウを記念して創設されたものとなります。

先日の関東東部部会において授賞式が行われました。



利根川前理事から、
メーリングリストの開設、
HPの改正、
20周年記念部会の成功
などが受賞理由として挙げられたとのご説明をいただきました。

片山ワイズに敬意を表するとともに、関東東部に所属する他クラブのみなさまに深く感謝いたします。

【茨城ワイズ 9月例会報告】

9月15日に例会を実施いたしました。ワイズメン9名に加え、ゲスト参加の方2名をお招きして盛大な会となりました。

茨城YMCAスタッフの大澤氏より、「YMCAブランディング」に関する卓話をいただきました。10月1日に新たに発表される日本YMCA同盟の新たなロゴマーク及びYMCAのブランドメッセージについて、YMCAブランドブックを用いながらの説明をしていただきました。ブランドメッセージ構築に至るまでの経緯や、今後YMCAが伸ばしていきたいイメージ、捨て去りたいイメージを交えながら、日本国内のYMCAが同じイメージ・メッセージを共有していくことの意義について、理解を深めました。

その後スマイルをはさみ、以下の件につき報告と協議を行いました。

- ◆チャリティーラン 参加者とスポンサーについて
- ◆チャリティーゴルフ 当日の運営について
- ◆チャリティーバザー 当日の運営について
- ◆次回例会 10月13日

9月例会の様様



2016-17年度8・9月会計報告 会計：井上 恒久

8月5日時点での繰越金		60,074
8月収入	まつりつくば収益	50,000
9月収入	スマイル	4,000
	食事	7,000
	会費	12,000
9月支出	まつりつくば参加費	2,000
	チャリティーランチームスポンサー	32,000
	リーダー研修費補助	12,000
10月へ繰越金		87,074

◆ワイズの目的は『YMCAの活動を支援する』となっております。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。まだ維持会員登録をされていない方は、和田までお申し出下さい。YMCAは会員団体であり、YMCAは会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。維持会員とは、YMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCAの維持、発展に寄与することを願う会員です。

茨城YMCA 報告 和田 賢一

〈9月の報告〉

- 1日 新入園児説明会
- 3日 高学年定例野外活動トムソーヤ
- 4日 早天祈祷会
- 9日～10日 スポーツ少年団講師研修
- 9日 障がい児・者自立支援活動たんぼぼクラブ
- 9日 中高生定例野外活動ユースクラブ
- 16日 夏キャンプ思い出会(野尻・アドベンチャー)
- 21日～22日 全国YMCA ICT担当者会
- 22日 チャリティーゴルフ
- 23日～24日 ファミリーキャンプ
- 30日～10月1日 小学生定例野外活動つくばこ・わいっこ合同キャンプ

(10月の予定)

- 2日 早天祈祷会
- 7日 幼保園運動会
- 7日 取手幼稚園運動会 指導者派遣
- 8日 放課後児童支援員研修
- 11日 職員礼拝・職員会
- 11日 チャリティーラン実行委員会
- 14日 街頭募金 経済的に困難な子どもたちへのための
- 21日 茨城YMCA・筑波学園教会共催バザー
- 27日 幼保園ハロウィン
- 28日 チャリティーラン
- 29日 高学年定例野外活動トムソーヤ

【編集後記】

出張で石巻と女川に足を運ぶ機会がありました。町のほぼ全てが津波に洗い流された女川は文字通りゼロから町を作り直している途上でありました。復興がまだまだ道半ばであることを痛切に感じさせられました。

さて、世の中は動き、選挙の季節がやってきました。氷河期世代の最終ランナーとして、苦しい時代を通り過ぎてきた私の世代にとっては、誰が政権を担おうとも、次代を担う若者が使い捨てられることのないような、安定した経済状況が継続されることを望みます。

イベントも多く忙しい10月ですが、みなさまが充実した日々を過ごせることを祈っております。

書記 村田 淳

(写真左：例会の定番メニューのカレー。いつもお肉がごろごろと入っていて美味しいです！)

(写真右：福島で食べた穴子丼と蕎麦、出張が気持ちの良い季節になってきました)

